

所 報

◆昭和42年度現地調査の実施

訪 問 国 名	氏 名	現 職	渡 航 目 的	期 間
タイ、マレーシアおよび台湾	矢沢富太郎	大蔵省大臣官房文書課課長補佐	アジア諸国の開発計画実施機構の運営状況	9月9日 ～9月20日
クエート、オーストリア、フランス、イギリスおよびアメリカ	鈴木龍男	日本開発銀行総務部企画室副長	石油製品の市場構造と石油産業における資源の最適配分	9月27日 ～10月19日

◆在外職員の動き

(1) 転 任

氏 名	派遣地	課 題 名	転任月日
原口武彦	アビジャン	フラン地域の変容過程	9月28日

(2) 出 張

氏 名	出張目的	出張地	期 間
永井 滋	シドニー大学成人教育部主催太平洋諸国に関する成人『学校』で「日本経済論」を講義のため	ニューカスル	9月16日 ～9月17日
浅野幸穂	ミンダナオ島の経済・現地事情視察のため	ミンダナオ島	9月22日 ～10月1日
大岩川和正	イスラエル農村の社会経済構造に関する実態調査のため	アヴィグド	9月17日 ～10月20日

◆海外からの来訪者

9月中の海外からの来訪者はつぎのとおりである。

(1) 8月24日(8月の外人来訪者の追加), Dr. N. Sakar (ECAFE, Economic Development Branch) が Economic Planning Harmonization Project に関連して、アジアの域内協力の可能性に関する調査依頼のため来所。

小倉所長、萩原調査企画室長と懇談した。

(2) 8月29日(8月の外人来訪者の追加), Dr. C. H. Shah (Center for Cultural and Technical Interchange between East and West) が来所。

日本の農業問題について、小倉所長と懇談した。

(3) 9月20日, Dr. Lim Tay Boh (シンガポール大学副学長), Mr. Mohd. Arun Bin Embond (MARA 訓練部長) が来所。

マレーシア、シンガポールの経済について萩原調査企画室長、長井調査研究部主任調査研究員、動向分析部職員と懇談した。両氏は昭和42年度海外協力強調運動シンポジウム参加者である。

(4) 9月25日, Dr. M. S. A. Rao (Delhi School of Economics) が日本におけるインド研究者との意見交換および当研究所における研究状況視察のため来所。

日本、アメリカ、イギリスにおけるインド研究の現況

に関して懇談した。出席者は高橋彰調査研究部主任調査研究員ほか関係職員。

(5) 9月25日, Dr. Hellmuth Führer (OECD 開発局次長), Mrs. A. de Lattre (OECD 職員) が来所。

当研究所の調査活動とくに「援助問題」の研究について討議した。出席者は東畑名誉所長、豊田総務課長、田部経済成長調査部主任調査研究員。

(6) 9月29日, 張漢裕博士(台湾大学経済学系教授)。「アメリカの援助期間における台湾経済の発展」と題して講演を行なった。出席者は笹本調査研究部長ほか、関係職員。

◆海外経済協力強調運動の実施

開発途上の国々に対するわが国の経済協力の実態を広く認識普及するため関係18機関と共催で下記のとおり「海外経済協力強調運動」を実施した。

- 9月14日 記念式典 於経団連会館
- 9月15日～9月20日 海外経済協力展 於京王百貨店
- 9月18日～9月24日 シンポジウム 於経団連会館

◆昭和42年度所内研究会

8, 9月中に行なわれた所内研究会は、次のとおりである。

- 8月2日 小林文男 「中国共産党の“反修”論理」
- 9月13日 岸 幸一 「ジャワの村落について」
- 9月20日 岡部広治 「ラテン・アメリカ研究の問題点」
- 9月27日 滝川 勉 「土地改革の概念について」

◆出版案内

- 1. 研究参考資料
第124集『東アフリカの貿易と流通組織Ⅰ』
第127集『日印の経済協力』
- 2. 『アジア経済資料月報』第9巻第8号

◆おもな人事異動

- 渡辺弥栄司 9月10日付けで当研究所監事に再任さる。
- 矢野 誠也 9月16日付けで荒川英の後任として経済成長調査部長に就任する。